

宇宙戦略基金 実施方針案(総務省計上分)について

令和6年4月25日
総務省

宇宙通信アドバイザーボードの開催概要

1. 宇宙通信アドバイザーボード概要

- 宇宙分野における**情報通信技術の研究開発**や**電波の利用促進**に取り組むに当たり、基金事業を含め、総務省における宇宙通信政策の効果的な推進のため、有識者から助言を得ること等を目的として「**宇宙通信アドバイザーボード**」を開催（座長：南山大学 梅比良 正弘教授）。
- 当該ボードにおける実施事項については以下のとおり。
 - **総務省における「宇宙戦略基金」実施方針の策定への助言**
 - 総務省において重点的に取り組むべき宇宙通信政策への助言
 - その他宇宙通信政策を実施する上での必要な事項

2. 開催実績

第一回

2月26日（月）

○宇宙通信政策を巡る動向について

- ・衛星通信事業の位置付け、コスト競争力の変化
- ・衛星通信市場の状況と諸外国の研究開発力との関係
- ・日本企業の衛星光通信産業への参入見通し
- ・コンステレーション事業における今後日本が立ち位置を確保出来る技術分野 等

第二回

3月19日（火）

○宇宙戦略基金の実施テーマの考え方及び今後の取組の方向性について

- ・実施テーマの内容面、支援期間、規模等
- ・競争政策、安全保障、産業振興の観点を踏まえる必要性
- ・非宇宙分野からの参入を促す仕組みや支援の必要性
- ・グローバルな展開が期待できる尖った技術への投資の必要性 等

第三回

4月3日（水）

○宇宙戦略基金実施方針案及び宇宙通信分野の裾野拡大について

- ・受託機関内及び機関間における情報管理の徹底の重要性
- ・実用化に向けたユースケースの検討の必要性
- ・国内における他プロジェクトとの連携や、他国との連携に向けたJAXAによるサポートの必要性 等

宇宙戦略基金 技術開発テーマ案(総務省分)一覧

- 令和5年度補正予算にてJAXAに造成された宇宙戦略基金（総務省分：240億円）を活用し、今後10年で取り組むべき技術開発のうち、宇宙分野での計画や資金ニーズが顕在化しており、速やかに支援に着手すべき技術開発の内容を、当面の事業実施に必要な支援規模、期間等とあわせ、技術開発テーマとして設定。

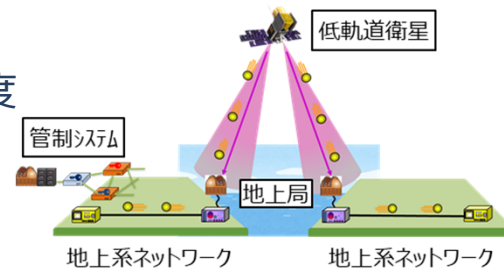
※このほか、令和5年度補正予算の内訳としては本基金事業の管理費（7億円程度）を含む。

衛星等

衛星量子暗号の通信技術の開発・実証

距離に依らない堅牢なセキュリティ環境を実現する量子暗号通信網の構築に向けた衛星搭載用の通信機器 及び地上局設備の開発・実証

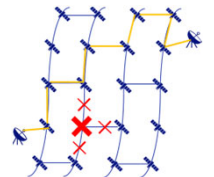
支援規模：145億円/1件程度
支援期間：5年間程度



衛星コンステレーションの構築に必要な通信技術の実装支援

大容量リアルタイム通信が可能な衛星間光通信におけるキー技術として、相互運用性、高速性、安定性等を備えたネットワークに必要な光ルータ等の技術開発

支援規模：19億円/1件程度
支援期間：3年間程度

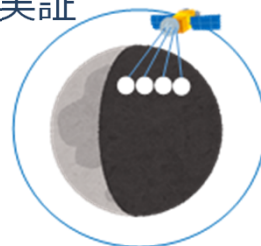


探査等

月面水資源探査技術

センシングによる効率的な月面水資源探査に向けた、小型軽量なセンサを搭載した小型衛星の開発・実証

支援規模：64億円/1件程度
支援期間：4年間程度



月-地球間通信システム開発・実証FS

月-地球間における大容量かつ高精度捕捉等が可能な通信アンテナの開発に向けた基本設計、高品質・高信頼性のモバイル通信環境の実現可能性の調査

支援規模：5億円/1件程度
支援期間：1年間程度

